

八王子のイチョウ並木  
が色づいたワン!!



# 工房だより

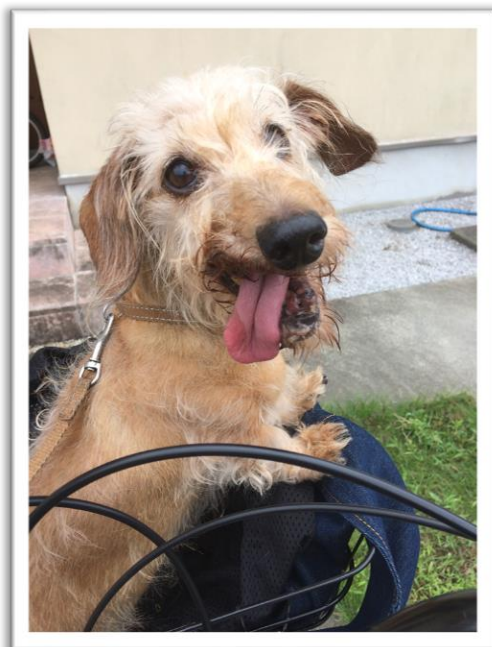
大地がらの恵みふらぽい  
ドッグフード  
工房

2020年11月号

vol. 30

～ ペットののための自然食キッチンから～

ママ曰く、  
今までごはんを残したことは1度もありません。  
ドッグフード工房を十年近く利用していて血液検査  
で年齢の割に良い数値と褒められます。  
「愛顧ありがとうございます。ホント愛嬌たっぷり、  
ふたばちゃんがいるだけでパツと明るくなる光景が目  
浮かびます。お写真に癒されました。」



今月の一枚

ふたばちゃん 十六才

(ミニチュア・ダックス・ワイヤー)



Say cheese!

ワンちゃんのお写真募集中!  
メールにて、どんなワンちゃんか一言添えてお送りください。採用された場合には心ばかりのお礼をお送りします。  
info@petfood-kitchen.co.jp

只今 2匹のワンちゃんの写真

インスタにて投稿受付中

十一月一日より三十日まで、「2匹の  
わんちゃん 写真投稿キャンペーン中」

Instagramでドッグフード工房公式

アカウント「@dogfood\_kobo」を

フォローして、ハッシュタグ「#2

匹のわんこ」をつけて写真を投稿してく

ださい。

(親子・兄弟姉妹・お友達 2匹の関

係は問いません。または2匹以上でも)

詳細はドッグフード工房公式サイトを

ご確認ください。

お客様窓口からのお知らせ

獣医師 岡田愛香先生ご紹介



ご挨拶

はじめまして、獣医師の岡田愛香です。

「獣医師」というと、ワンちゃんや猫ちゃ

んを相手にするお仕事というイメージがあ

りますが、人を相手にすることも多いので

す。話せない動物たちにかわって伝えてく

れる飼い主さんの話を聞くこと、話せない

動物たちの状況をお伝えすること、などお

話をする機会が多くありました。

お話を聞くこと、お伝えすることには自

信があります。

只今、気軽に相談いただける窓口を準

備中です。

準備ができ次第、ご案内させていただきます。

今後とも宜しく願います。

獣医師 岡田愛香

経歴

日本大学生物資源科学部獣医学科卒業

都内動物病院にて臨床獣医師として

勤務後、ペットフード工房へ

お知らせ

ブランドサイト



ECサイト



ブランドサイトやECサイトにて最新のお  
知らせなど、こまめに情報発信しておりま  
す。是非、時々チェックしてみてください。

## 愛犬と心を通わせていますか？

### (十五) 関係性

前回は、しっかりとご飯を食べられるようにする大切さや成長期は体重よりも体型、筋肉をつけることが大事だとお話しさせていただきました。

今回は、関係性の「あく勘違い」についてお話しさせていただきます。

ところで、ワンちゃんが一番好きな人ほどの人だと思えますか？

1. ごはんをくれる人
2. 一緒に寝てくれる人
3. 一緒に遊んでくれる人

正解は・・・一緒に遊んでくれる人なのです。ご飯をくれる人と、思われがちですが、ワンちゃんが喜んでるのは、「ご飯」であって「くれる人」とは限りません。

ワンちゃんとの関係性が大切なのは、どちらに主導権があるからです。威厳があり、堂々とした頼れる優しい飼い主さんには信頼を持ちます。



飼い主さんが主導権を持っているとワンちゃんは安心して生活ができます。食べ物や休める場所を与えてくれて、身を守ってくれる存在であることが、精神的にとっても良いのです。

反対にワンちゃんが主導権を持つことは、家族を守るために頑張りすぎて気が休まらない毎日となってしまいます。

飼い主さんが主導権を持つためには、ワンちゃんの生活（食事・散歩・遊ぶ時間）をなるべく飼い主さんの都合に合わせてあげることがポイントです。ワンちゃんが要求すればいつでも応えてくれる相手には、ワンちゃんは信頼を置けません。

また、食事やお散歩の時間も一定化しないことが大切です。一定化してしまうと、できなかった場合にワンちゃんはストレスを抱えることとなります。また吠えるなどの要求を始める結果になりかねません。

万が一、災害などで非難しなければならぬ可能性なども考えたときに、飼い主さんが主導権をもつことはとても大切なことなのです。

一緒に楽しく遊ぶ時もそして美味しいおやつや食事を与えるときも飼い主さんがしっかりと主導権を持ち、ワンちゃんの必要な欲求を満たしてあげること。それこそがワンちゃんから一番好かれる人なのです。

監修：家庭犬ドッグトレーナー 廣瀬佐知子



### Chap8: 食の社会化

## 【高尾さんちの叶ちゃん】8

「動物も人間と同じように、食べたもので今の体ができているのよねえ。工さん!!」房さんは、ソファに寝そべっている工さんに声を掛けました。「そうだよ、でもさあ、考えてみると犬と猫ぐらいいだよね、与えられるペットフードだけで大きくなるのって。そう考えると、叶ちゃんのフード選び慎重にしてくちやね。」のっそりと起き上がり

ながら、工さんは房さんの顔を覗きました。

「ホント、そう思うわ。お隣のオウちゃんママに聞いたんだけど、なんでも食べられる子になるか好き嫌いの多い子になるかは、小さいときの経験が大切ならしいの。舌触り・歯ざわり・硬さなど、いろいろな食感を実際味合わせてみるのが一番ですって。」工さんは、なるほど・・・と大きくうなずきました。「そうだね!、未知なる食材への挑戦は、僕だつてこわい。そうかそうか、叶ちゃん 君はなんでも食べられる子に



なるんだよ」と言いながら工さんは叶ちゃんを抱き上げ膝の上にのせました。

「さあ、叶ちゃんごはんにしましょうか。」房さんが声をかけると、工さんの膝の上から飛び降りて、房さんに駆け寄り、すかさずお座りをして待ちます。「工さん、みてみて、叶ちゃんお利口さんでしょ!!」叶ちゃんは、房さんを目遣いでじつと見上げています。

叶ちゃんの声は工さんや房さんに届くのでしょうか。